

## 11月3日(土)第3回「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、「**あなたもドンしてみませんか?**」～ドンとは、**米・豆・とうもろこし等の穀類を加熱・加圧後に爆発・膨張させて作る70年前からのお菓子**の津軽地区での愛称です。関東ではポン菓子と言いますが、物騒にも爆弾と呼ぶ地域もあります(笑)。その活動をしている**ボランティアグループ「Fireman」**の**古川昭さん**をゲストにお迎えしてお話ししていただきました。

Fireman の活動は、**弘前市北地区消防団(亀の甲町)員**として、**クリスマス・イブ**に、時敏小学校区 30 軒の家庭に、各家庭からお願いされた**クリスマスプレゼントを届けたことから**始まった活動です。クリスマスプレゼントを届けるために、いつもは通ることのない道路を通ったり、通常は入室できないようなマンションの住居の配置を知ることができたりするので、**火災が発生した時の訓練になることもある**そうです。訪問先では、サンタクロースのためにクッキーを持って待っている子がいたり、サンタクロースとお父さんの顔を見比べて不思議そうな顔をする子がいたり、「**何で消防車の車に乗ってくるの?**」と質問する子には「**サンタクロースも消防車も赤いでしょ! ?お友達なんだよ・・・**」などと答えたりして、消防団のことを知ってもらえる良い機会にもなったり、**プレゼントを届けてもらった子どもが、大きくなった時に消防団になってもらえたら嬉しい**と話しています。

その後「**クリスマス以外に何かないか?**」「**ドンをやろうか?**」と考えていた時に**東日本大震災**が起ったことで、即、機械を発注して、**岩手、宮城の被災地の子どもたちに笑顔になって欲しいという想いで訪問**したそうです。震災があった年は、被災地と弘前市内の小学校、保育園、施設など、合計 300 カ所まで活動をしたそうです。子どもだけでなく、**年配の方にも懐かしんで元気になってもらいたい**と話しています。お話の後に、**ドンを実演**していただき、できたての香ばしいドンをみんなで頬張りながら会話も弾み楽しく過ごしました。

**参加者から**～「実際にボランティアを行っている人でないと分からないようなことが聞ける機会だった。」「**はじめてドンを見たけど、とても楽しかった**です。」「参加されている方々が、とてもあたたかい人ばかりだと思いました。」「**楽しみながらボランティア**をしている人の気持ちの部分をもっといろんな人から聞ければ良いと思いました。」などと好評でした。

「**ほっと・ぼらんていあ**」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、2か月に1回程開催予定です。**次回は、1月23日(土)の13:30～15:30分まで、福島県骨髄バンク推進協議会運営委員の志賀としえさん**をお招きし、**骨髄バンクのおはなし**をしていただく予定です。志賀さんは、震災で家族3人を亡くしています。同じ様に骨髄移植を受けた方と結婚して、現在は、里子(男の子)を育てています。詳細に関しては、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞等で確認していただければ助かります。**ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。**